

知的障がい者職業訓練の 神奈川能力開発センター



神奈川能力開発センター正門風景(開所当時)

知的障がい者の職業的自立

昭和62(1987)年10月に知的障がい者のための職業能力開発施設として全国に先駆け、第三セクター方式により、神奈川県、横浜市、川崎市と民間企業、地元の方々の協力のもと、伊勢原市に開所しました。全寮制の知的障がい者職業訓練施設として高い就職率と定着率を誇り、開所以来1,000人を超える修了生を送り出しています。

訓練期間は2年間、各年次定員30名で1年次は職業基礎科、2年次は総合加工技術、施設管理技術、物流販売技術の3コースに分かれて訓練を実施するほか、フォークリフト運転免許や介護職員初任者研修等の資格取得も支援しています。



フォークリフト訓練風景



実習場全景



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ